

難病と在宅ケア

Home Health Care for the People with Intractable Diseases

2011.7月号 VOL.17, NO.4



特集 在宅医療と訪問看護

- 第1部 在宅呼吸器装着難病患者の尊厳ある生き方を支える**
中嶋 啓子 (大阪府高槻市/なかしま診療所)
- 第2部 家族と共に支える質と量の支援充実**
乙坂 佳代 (横浜市/港北医療センター訪問看護ステーション)
- 第3部 ALSにおける医療依存の高い処置導入後の看護**
大竹 しのぶ (練馬区医師会訪問看護ステーション)
- 第4部 トラベルヘルパーが教える旅の夢の叶え方**
篠塚 恭一 (東京都/NPO日本トラベルヘルパー協会)
- 第5部 訪問薬剤師の活動の実際**
大木 剛 (協和ケミカル在宅医療部)



口腔ケア

舌苔の除去の考え方と用具
濱田 真理子 (エイチ・エムズコレクション)

褥瘡対策

体圧分散寝具の分類と選定
齋藤 華 (聖隷横浜病院)

食事療法

肝硬変～アンモニアを減らすための食事～
藤岡 高弘 (国家公務員共済組合連合会三宿病院)

脊髄小脳変性症

脊髄小脳失調症 31 型の発見～新病名 SCA31～
石川 欽也 (東京医科歯科大学医学部附属病院)

各種難病

重症筋無力症の最新の薬物療法情報
本村 政勝 (長崎大学病院)

パーキンソン病

パーキンソン病の「痛み」
久野 貞子 (パーキンソン病神経難病センター)

【編集委員】

- 金澤 一郎 皇室医務主管
- 原中 勝征 日本医師会会長
- 久常 節子 日本看護協会会長
- 児玉 孝 日本薬剤師会会長
- 西澤 寛俊 全日本病院協会会長
- 山林 良夫 日本医薬経営コンサルタント協会最高顧問
- 川村佐和子 聖隷クリストファー大学教授

トラベルヘルパーが教える旅の夢の叶え方 ～ 四肢麻痺の方でも 楽しい旅行が可能です ～

東京都／NPO日本トラベルヘルパー協会 理事長 **しのづか きょういち**
篠塚 恭一

みなさま、トラベルヘルパー(外出支援専門員)ってご存知ですか？

旅に思いを馳せ、思い出の地、思い出の人を求め出かけていきたい！ そんな思いは、全ての人にある。でも、ひとりじゃ不安、ひとりじゃ出かけられない、いろいろな事情で出かけられない方々のお手伝いをして、外出先で、旅行先で、必要なお手伝いをしながら大切な時間を過ごし、思いを叶えていただく。そんなお手伝いをするのがトラベルヘルパー！ 旅先案内人！！

では、早速トラベルヘルパーがご案内した旅をみてまいりましょう！

その1 酸素吸入を必要とされるご長男、ご家族でセブ島へ！

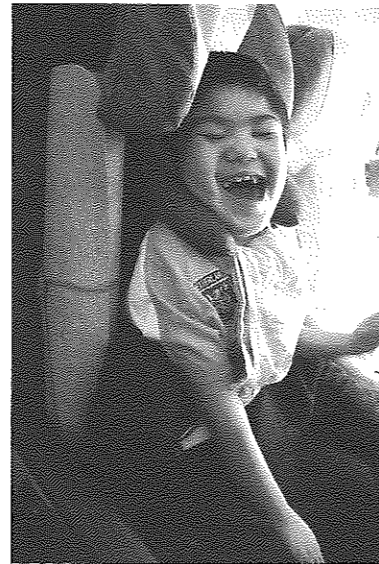
そこには、笑顔、笑顔、笑顔！！

実は、毎年ご利用いただいているM様ご家族。ご長男が酸素手配を必要とされ、今年もまたあの飛びっきりの「笑顔」のお手伝いをさせていただきました。

ここで、M様からのお手紙をご紹介します。



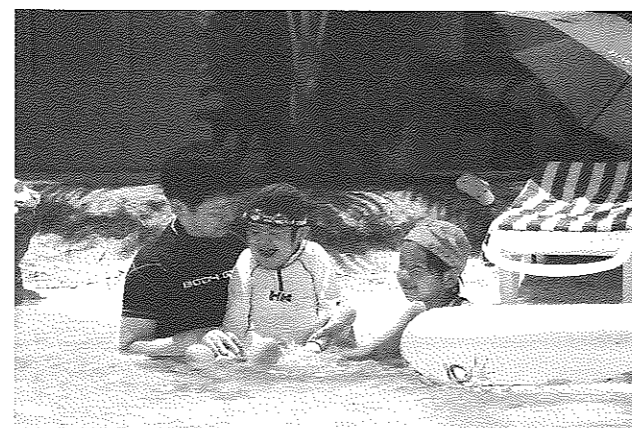
今年のご旅行先は、セブ島です！



飛行機内では、早くも飛び切りの笑顔です！

「ご無沙汰しております。

こちら、家族みんな体調安定でお盆をすごすことができました。旅行日程の決定が遅かったにもかかわらず迅速な対応で、無事今年も息子をつれて南の海に出かけることができました。去年もお世話になった(グアム)ので、息子に関する医療的な申請資料や、注意事項などの航空会社や滞在先との交渉を安心して任せることができ、他の旅行会社にはない、細やかな配慮で出発することができました。あ



海での一枚。この写真を撮ったあたたかいお母様のまなざしまで見えるようです。

りがとうございます。年々重症になる息子ですが、夫婦で抱き上げられる限り、息子とともに旅していきたいとおもいます。今後ともよろしく願います。」 Mファミリー 一同より

実は、一昨年にもグアム旅行を実現され、帰国後にはM様からお手紙とお写真を頂きましたのでご紹介いたします。

『トラベルヘルパーさんとの綿密なやり取りと、小さな疑問でも確実に回答いただけたことで、安心して旅行に臨めました。事前のリフトバス手配や、万一の滞在先の酸素設置など、現地の状況も分からず不安でしたが、トラベルヘルパーさんの情報提供と確実な準備態勢で旅行中は不安感なく旅を満喫できました。

入国、出国審査や搭乗手続きも混雑の中、車いす利用の家族優先で、空港係員先導のもと、スムーズに通過でき、息子にとっても負担の少ない旅になりました。この旅で自信が付き、さらに遠くへ、違った国へ、家族の思い出を増やすため出かけたと思います。

どうぞまた、宜しく願います。息子の笑顔がこの旅行の成功を語っていると思います。またこの笑顔が見られるよう旅を目標に充実した生活を送りたいものです。スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

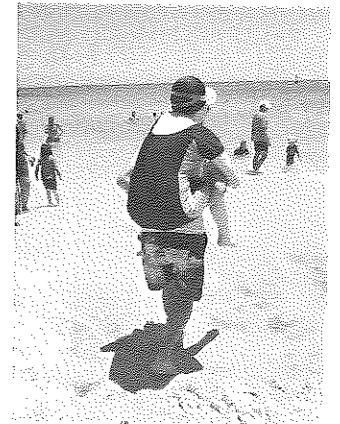
2009年8月28日

その2 思い出のオーストラリア・パースへ車いすで旅しました！

お嬢様からお母様のトラベルヘルパーサービスの依頼をいただきました。ご旅行先は、オーストラリ



パースの海を懐かしげに眺めるWさま



お嬢様のご主人に、おぶさって…
さあ、いよいよ海に！



ご家族三人で、パースの海岸に沈む太陽をご覧になる。ここでサンセットを見たかったの…。すてきな光景ですね。

アのパース。お母様が昔よく行ったパースの海岸にもう一度連れて行ってあげたい！ お母様の願い、そしてお母様を想うお嬢様の願いを叶える「介護旅行」にでかけました！！

ご旅行にご一緒したトラベルヘルパーの言葉です。

「リハビリ病院に入院されて3年、諦めかけていたもう一度オーストラリアのパースに行きたくて昔良く行ったビーチで海に入りたくて。泳いで魚を見たい、ビーチ沿いのカフェで「アイス・カフェモカ」を飲みたい、との希望にドクターがゴーサインを出して下さったのはすごい事だと思いました。その方の…いえ、その方だけでなく家族の方々、ドクター、病院の見送って下さった方々の夢をかなえるため、私がトラベルヘルパーとして一緒にパースに行かせて頂きました。そして魚は残念ながら見れませんでした。ご本人からお聞きした夢をほとんど叶える事が出来最高の1年を締めくくる事が出来たと思います。改めて夢を叶えるのも夢を夢のままに終わらせるのも自分自身の言動一つ、努力なしでは何も変わらないと感じた旅でした」